

## 地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和8年1月30日 (令和7年11月28日)
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	福崎町 28443
地域名 (地域内農業集落名)	桜 ( )

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

## 1 地域における農業の将来の在り方

## (1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	13.5 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	13.1 ha
② 田の面積	12.4 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	1.1 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	0.1 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	13.5 ha
(参考) 区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha
(備考) ほ場整備面積を12.8209ha(田:11.6879ha、畑:1.133ha)として計算	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

## (2) 地域農業の現状及び課題

高齢化、後継者問題で個人、家族単位だけでは耕作が困難な農地が発生してきている状況の中で、ほ場整備事業を進めているところである。  
10年先を展望して持続的に農地の利用を図りながら地域の活性化を進めるためには、スマート農業の導入とともに、営農組合やその地域住民からなる農業実務者を確保・育成しつつ、地域全体で農地を利用していく仕組みの構築が課題である。

## (3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

ほ場整備事業の一環として農地の集積・集約化が進んでいる中で、桜営農が主体となって米、麦、高収益作物を地域農業の3本の柱として捉え、効率よく、低コストで生産、販売、収益確保出来るように常に工夫していく。  
継続して農業を営むためには、後継者育成が不可欠である。しかし全国的にも少子化、定年延長等で農業経験者がますます減少していくと予想されている。そのため若いうちから興味を持って体験・経験してもらい、それを積み重ねることによって後継者育成をしていく。

## 2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
ほ場整備地及び農振農用地、桜営農が耕作している農地を、主に農業上の利用が行われる農用地等の区域とする。			
①桜営農が耕作する範囲は、基本的にはほ場整備事業で整備された農地。			
②ほ場整備対象外の農地は、基本的には地権者が管理、耕作する。(地権者からの依頼で営農又は第三者が受託して行う場合はこれに含む)			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	96	%	将来の目標とする集積率
			100 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
農地中間管理機構を活用し、桜営農を中心に農地の集積・集約化を進める。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
ほ場整備事業の対象農地については、事業計画に従って農地中間管理機構を活用し、認定農業者を中心に団地面積の拡大を推進していく。
(2)農地中間管理機構の活用方法
ほ場整備事業の対象農地については、事業計画に従って地域全体の農地を農地中間管理機構に貸し付け、担い手の経営意向を斟酌しつつ段階的に集約化を進めていく。
(3)基盤整備事業への取組
ほ場整備事業を通して、担い手のニーズを踏まえた上で農業競争力強化農地整備事業にて農用地の大区画化・汎用化等のための基盤整備を令和8年度までの完了予定で実施している。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
行政やJAと連携し、栽培技術やドローンを活用した作物の消毒などの支援や相談から定着まで切れ目のない取り組みを展開する。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
地域内で農作業の効率化を図るため、米の苗作り、麦の赤カビ防除作業はJAへ委託するとともに、保有米の粳摺りは設備を保有している認定農業者へ委託・活用し、営農組合は過剰な固定資産、設備投資を回避する。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input checked="" type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input checked="" type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④畑地化・輸出等	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨耕畜連携等	<input type="checkbox"/> ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

- ①イノシシやシカの被害が拡大しないよう防止柵を設置するとともに、目撃情報や被害情報があった場合には速やかに対応できる体制を構築する。
- ②高騰が続く化学肥料の使用を抑え、なるべく緑肥を活用してコストを抑えつつ、植物自身の生命力で農作物の育成を図る。
- ③ほ場整備事業で大規模化したほ場に対して、スマートな機能を持ったトラクター、コンバイン、田植え機を導入して効率よく作業し、品質向上を推進を図っている。
- ⑧担い手や農業を担う者の利用状況などを考慮の上、出荷・調製施設を整備し、農業用施設の集約化を進める。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
	別紙のとおり		ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	1経営体		13.98 ha	0.00 ha		13.50 ha	0.00 ha		

- 注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。
- 2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。
- 3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。
- 4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。
- 5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
	JA	農業資材の購入	苗、種、肥料、除草剤等
	JA	ドローンでの赤カビ防除、	麦
	JA	籾摺り、米、麦の受入れ、出荷	米、麦

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報を保有するに当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

	属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 16 年度)				
			経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図上 の表示	備考
1	認農	認定農業者(法人)A	水稻・小麦	13.98 ha	ha		13.50 ha	ha		
2				ha	ha		ha	ha		
3				ha	ha		ha	ha		
4				ha	ha		ha	ha		
5				ha	ha		ha	ha		
6				ha	ha		ha	ha		
7				ha	ha		ha	ha		
8				ha	ha		ha	ha		
9				ha	ha		ha	ha		
10				ha	ha		ha	ha		
11				ha	ha		ha	ha		
12				ha	ha		ha	ha		
13				ha	ha		ha	ha		
14				ha	ha		ha	ha		
15				ha	ha		ha	ha		
16				ha	ha		ha	ha		
17				ha	ha		ha	ha		
18				ha	ha		ha	ha		
19				ha	ha		ha	ha		
20				ha	ha		ha	ha		
21				ha	ha		ha	ha		
22				ha	ha		ha	ha		
23				ha	ha		ha	ha		
24				ha	ha		ha	ha		
25				ha	ha		ha	ha		
26				ha	ha		ha	ha		
27				ha	ha		ha	ha		
28				ha	ha		ha	ha		
29				ha	ha		ha	ha		
30				ha	ha		ha	ha		
31				ha	ha		ha	ha		
32				ha	ha		ha	ha		
33				ha	ha		ha	ha		
34				ha	ha		ha	ha		
35				ha	ha		ha	ha		
36				ha	ha		ha	ha		
37				ha	ha		ha	ha		
38				ha	ha		ha	ha		
39				ha	ha		ha	ha		
40				ha	ha		ha	ha		
41				ha	ha		ha	ha		
42				ha	ha		ha	ha		
43				ha	ha		ha	ha		
44				ha	ha		ha	ha		
45				ha	ha		ha	ha		
46				ha	ha		ha	ha		
47				ha	ha		ha	ha		
48				ha	ha		ha	ha		
49				ha	ha		ha	ha		
50				ha	ha		ha	ha		
51				ha	ha		ha	ha		
52				ha	ha		ha	ha		
53				ha	ha		ha	ha		
54				ha	ha		ha	ha		
55				ha	ha		ha	ha		
56				ha	ha		ha	ha		
57				ha	ha		ha	ha		
58				ha	ha		ha	ha		
59				ha	ha		ha	ha		
60				ha	ha		ha	ha		
61				ha	ha		ha	ha		
62				ha	ha		ha	ha		
63				ha	ha		ha	ha		
64				ha	ha		ha	ha		